

FMU 男女共同参画通信

第 31 号 December 2021
福島県立医科大学男女共同参画支援室

今月 10 日(金)に男女共同参画講演会が 2 年ぶりに開催され、多数の教職員・大学院生・大学生に御参加いただきました。新しい変異株の感染拡大が始まりつつあり、大学生活や各種イベントが“with コロナ”化し、開催方法が会場及び Web 参加のハイブリッド方式が主体となっております。一人ひとりが我慢強く感染予防を徹底して行い、コロナ禍を乗り越えていきましょう。

全員参加型 FD 講習会 男女共同参画講演会を開催 (12/10) 166 名が参加



菅原名誉教授

12 月 10 日(金)に全員参加型 FD 講習会「男女共同参画講演会」が第一臨床講義室において開催されました。

相変わらずコロナ禍にあることから会場と WEB の同時開催といたしましたが、合計で 166 名に参加していただきました。



下村教授(左)と浅野監督

最初の講演では、講師に岩手大学名誉教授菅原悦子先生をお迎えし、「女性研究者支援からダイバーシティ実現で北東北の未来を先導へ」というテーマで講演いただきました。

御講演では、岩手大学におけるさまざまな先進的な取り組みについて御披露いただき、さまざまな分野において、男女共同参画の視点を大切にしたい取り組みを行うことが、一人ひとりを尊重し、女性の活躍推進と地域創生につながることで、また、大学は地域を先導する役割を担うことを説いていただきました。参加者からは、女性優先採用や地域のネットワーク作りで中心的な役割を担った点などに関心が寄せられていました。

続いて、映画監督である浅野直広氏とパネリストとして本学病態制御薬理医学講座主任である下村健寿先生に登壇いただきました。御講演では、「ハンセン病の現場にレンズを向けて」と題して、ブラジルをはじめ世界各国のハンセン病患者の置かれた状況について、ありのままを映した写真で解説していただきました。現代において、このような差別的な状況が依然として残り、改善されることなく放置された状況にあることに参加者は大きな衝撃を受けていました。人間はなぜ差別するのか、ハンセン病とは人間の弱さを象徴するものと説かれましたが、差別は男女不平等にも通じることを理解できるような御講演でした。

FMU キャリアアップセミナーを開催(11/17)

11 月 17 日(水)に「FMU キャリアアップセミナー」が開催されました。

本セミナーも会場開催と Web によるオンラインセミナーのハイブリッド開催となり、58 名の教職員、大学院生が参加されました。

今回は「いまさら聞けない基礎統計学 2～データを俯瞰しよう～」と題して、医学部衛生学・予防医学講座准教授各務竹康先生に講演いただきました。

御講演では、データのあり方を正しく解釈すること、外れ値がある場合には、本当に外れなのか、全データ

に一度疑いの目を向けてみるなどデータ分布の解釈を誤ると全てに影響するので、データ全体を俯瞰するべきと説かれました。

さらに、統計は独学ではなく、指導者に習うことが有効なので、迷い始めたらすぐに相談してほしいと締めくくっていただきました。

統計を必要とする皆さまにとっては、救いの手となる大変有意義なセミナーとなりました。



FMU 保健科学部カフェを初開催 (10/29)



10月29日(金)に「FMU 保健科学部カフェ」が初めて開催されました。保健科学部開設以来、男女共同参画関係の初のイベントと

なり、福島駅前キャンパスには総勢29名の教職員、大学院生、学部学生が集いました。

5名のパネリストの先生方からは、海外留学した際の経験談や学生時代に経験しておけばよかった英語と専門分野の勉強、育休や産休を取ろうとした際のさまざまな体験談について御披露していただきました。

参加した学生の皆さんからは、「初めての機会で、貴重な話を沢山聞くことができ有意義だった」、「また、開催してほしい」などの感想が寄せられました。

「研究支援員の配置に係る要望調査」のご案内

ライフイベント(出産・育児・介護・看護等)を抱えた教員の研究支援を行っております。つきましては、令和4年度上半期配置分の調査を行います。

支援期間 R4年4月1日～R4年9月30日

1. 対象者

本学の主に医学部・看護学部・保健科学部・会津医療センターに所属する助手以上(大学院生も含む)の研究者(性別は問いません)のうち①～④にあてはまる教員。

- ① 妊娠中
- ② 家庭において、小学校6年生までの児童の主たる養育者
- ③ 同居・別居に問わず要介護認定を受けている親族の主たる介護者
- ④ その他、上記に準ずる(家族の看病をしている等)状況

2. 支援を希望される方

1月に配布予定の調査票にて、詳細を御確認ください。

9/29 推進員研修会を開催 オンラインで98名参加

9月29日(水)に「推進員研修会」が開催されました。本研修会もコロナウイルス感染対策の面から、Webによるオンラインセミナーとなり、総勢98名の教職員大学院生、学部学生が参加されました。

講師には杏林大学医学部 荻田香苗教授をお迎えしました。御講演では、「コロナ禍の先を見据えたワーク・ライフ・バランスのすすめ」と題して、ワークライフバランスに係る具体的な状況や家事分担など言語化が難しかったものについて説明いただき、人生100年時代を生き抜くためのヒントを紹介していただきました。

Information

<<令和3年度ロールモデル集>>

本学の様々な分野で活躍されている方々に「福島県立医科大学の後輩へ」というテーマでメッセージをお寄せいただきました。

5名の先輩の心のこもったメッセージを是非御覧ください。

<https://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/rolemodel/>
(事務担当 総務課大学人事係 霜村 内線2019)

<<FMU看護学部カフェ>>

■日時 令和4年2月18日(金)

16:00～16:45

■場所 8号館5階ラウンジ(会場開催のみ)

■講師 看護学部基礎看護学部門

准教授 丸山 育子先生

■テーマ 「キャリアアップとワーク・ライフ・バランス」

共催イベント

<<ワークライフバランスお悩み会>>

■日時 令和4年3月12日(土)

10:00～12:00

■場所 Fukushima-Base

(福島駅近郊のレンタルスペース)

■講師 子育てと平行して仕事を継続している若手医師

■対象 ワークライフバランスに関心のある医学部生または研修医

■主催 医学生のキャリアを考える会

福島県立医科大学では、個人として尊重され、性別に関わらず、多様な価値観を認め合い、持てる個性と能力を最大限発揮できる環境を築き、仕事と生活の調和を実現することを目指しています。

福島県立医科大学 男女共同参画支援室

E-mail: gendeqsp@fmu.ac.jp / Tel: 024-547-1657 (内線: 2807) / HP: <http://www.fmu.ac.jp/home/gendeqsp/>
男女共同参画支援室長 小宮 ひろみ / コーディネーター 橋本 にしき / 渡邊 賢一